



いすじろう通信

2024年度

「第3回JVR養成講座」号

ようこそ！栗東自然観察の森へ 8月24日に実施した第3回JVR養成講座「バンダナを草木で染める」の様子を紹介します。

活動前の打ち合わせの様子 森の職員とサポーターのみなさん

布の前処理(タンパク処理)7月13日

工程① 染液づくり

森にお越しいただいて早々に、
染液の作製にとりかかっています。

今年の染材は、「ビワ」の枝、
葉を選びました。どのような
色に染まるか楽しみに♡

観察の森所長にご挨拶いただき、活動のはじまりです♡

指導いただくのは、染色アーティストの林優里先生です♡

工程② 模様入れ

林先生は、JVR養成講座の卒業生でいらっしゃる、サポーターも務めていただいているので、養成講座では大変お世話になっています。
準備いただいた資料をもとに、染める布の素材についてまた、草木染めの進め方について丁寧に紹介いただきました。

染める布は、木綿のバンダナです。昨年草木染めを体験された講座生は、黙々と作業を進めます。はたして、思い描く模様になるでしょうか？ いちばん夢が膨らむ作業です♡

具体的な手順は、布にビー玉などを入れて紐で縛ったり、形のあるものを強く押し当てたりすると、染色後に模様が浮かびあがります。今年も、観察の森の所長が参加され、体験活動を一緒に楽しませていただきました。

できたネ♡

工程③ 前処理／工程④ 染色



模様入れをした布を
水に浸けてから・・・



染める布の素材と染液の種類によって、布を浸ける時間や染液の温度を管理して作業が進みます。
この繊細な作業には、ビワの木がまとった色を、森のめぐみとして感謝していただく心が育まれます♡

染まるまでの時間を利用して・・・

◆森を歩こう◆

(フォレストホーミング作りを目指して)



工程⑤ 媒染／工程⑥ 水洗い・乾燥



媒染は、「布」と「染材の色」をしっかりくっつけるための作業になります。媒染に用いる媒染液は、「アルミ」と「鉄」を準備いただきました。この媒染液は、どちらを使用するかで、仕上がりの布の色が変わります。
また、同じ一枚の布で別々の媒染液を利用することができます。水洗い後、いよいよ縛った紐を解いていきます。



ふりかえり
林先生、草木染めのご指導ありがとうございました。
JVRサポーターズの皆さま、布の前処理など事前準備や染液の作製並びに、講座生の目配りと、大変ありがとうございました。
講座生の皆さん！本当に素敵な作品が出来上がりましたね。りすじろうもビックリです♡
今回は、「班別対抗戦」です。観察の森を無人島にみたくてサバイバルの技術を披露してください♡

綿、絹、ウールに麻・・・
シルクが草木染めと一番相性が良いそうです。
布の素材のお話も面白かったね♡